

「令和6年度防災通信セミナー」

<通信でまもる「いのち」とつなぐ「みらい」>を開催しました

- 四国総合通信局と四国地方非常通信協議会は、令和6年11月12日（火）に「**令和6年度防災通信セミナー**」を徳島県庁で現地開催、**四国各県の自治体、企業、地域の自主防災組織等から約100名**の参加がありました。
- セミナーでは、災害発生時の通信確保のヒントとなるような**講演**と、公共安全モバイルシステム、衛星インターネット、防災行政無線、簡易無線機など**防災時に活躍する通信機器**に自由に触れていただける**展示**を実施、**災害から「いのち」を守り「みらい」につなぐ通信について理解を深めていただきました。**



■ **講演 1**
「アマチュア無線があるでないで！」
(方言で意味は「アマチュア無線があるじゃないか！」)

板野町 総務課 係長 西川光利 氏 から

地域における通信分野の防災ボランティアの活動や、道の駅を拠点とした取組を、実際の映像や写真をふまえてご紹介いただきました。

災害時を想定した「顔の見える」関係、「ものを言える」関係づくりを目指して今後の課題と取り組みもご説明いただきました。



■ **講演 2**
「能登半島地震対応の振り返りと孤立地域や避難所への通信環境の確保」

KDDI株式会社 西日本運用センター テクニカルセンター 副センター長 津田充康 氏 から

能登地震の際、孤立地域や避難所等への通信手段の提供をどのように進めていったか、その際の工夫や課題も交えてご紹介いただきました。南海トラフなど今後発生が予想される災害に向けた備えについてもご説明いただきました。



■ **講演 3**
「令和6年能登半島地震対応の経験等に基づく災害時の通信確保に向けた検討」

総務省 基幹・衛星移動通信課 重要無線室 室長 中川拓哉 から

能登半島地震の際の通信環境確保、復旧について、衛星インターネット等の新技術が大きな力を発揮したことについてご紹介した後、被災された方々や災害対応を担う方の通信環境の確保に関する、今後の施策についてもご紹介させていただきました。



※当局職員お手製のセミナーチラシ

会場の様子

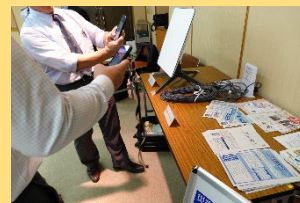


セミナーには約100名が参加終了後は各講師との名刺交換や質問で行列ができていました。

機器展示コーナーの様子



陸上無線協会のご協力により、5社から防災行政無線、簡易無線機、測定器などの防災通信に関する機器を出展いただきました。セミナー開始前、終了後にたくさんの方にご覧いただきました。



当局からも衛星インターネット及び公共安全モバイルシステムを展示、実際に手に取って体験いただきました。

主催：四国総合通信局、四国地方非常通信協議会
共催：徳島県
協力：一般社団法人全国陸上無線協会四国支部

【お問い合わせ先】
無線通信部 無線通信課（陸上関係）089-936-5066